

## ダイサギ（サギ科） 全長 88～98 センチ

神宮寺岳見橋下流域の杉林で、サギ類が集団で繁殖している。アオサギが最も多く、次にゴイサギとダイサギが見られます。

全身真っ白のダイサギはとてもよく目立ち、繁殖期に見られる背中飾り羽がとても綺麗。サギ類の集団繁殖地（コロニー）はあちこちで見られるが、ここの規模は大きい方ではないだろうか。3種類のサギの巣は、ざっと数えて50か所以上。



親の足元に3羽のヒナが。

やはり一番多いのはアオサギで、全体の7割を占めている。アオサギより少し遅れて巣作りにやってくるのがゴイサギです。

コロニーの10年間はこの2種だけであったが、数年前からダイサギが加わり、今年は5つがいほどが子育てに励んでいる。



背中飾り羽が少し風に舞い上がった。



羽繕い中。

巣の場所は繁みの中に作ることが多いので、ヒナを見る事は難しいことであるが、今年初めてダイサギのヒナを撮影することが出来た。全身が白く、親の足元で元気な姿を見せてくれました。



アオサギと共に雛の餌を探している。



飛び立つときは首を真っすぐに伸ばしているが、飛び上がったら徐々に折り曲げます。